都心部の公園における利用の多様性と包摂性についての考察
ー福岡市警固公園を事例としてー

平田　颯彦

1. 研究の概要

1-1. 研究の背景

マーモット (2017)[1] によると、都市公園は社会的弱者への健康格差対策案としての都市インフラとして疫学分野から評価されている。また、大塚ら (2014)[2] は都市公園の利用を通じて、社会的健康が増進することを報告しており、都市公園には社会的弱者に対するセーフティネットのような役割があると言える。

一方で、公園整備の財源難や都市公園法改正を背景として、民間資本による公園整備や立体都市公園制度による改修が潮流となっている。それに対し、都市の富裕化と言われるように、一部の人にとっては、公園でさえも気軽に足を運ぶことができない場所になってしまっている実情もあるという批判もあり、公園の公共性や包摂性を改めて再考する必要がある。このような状況下で、2013 年に再整備された福岡市中心部に立地する警固公園では、治安を改善し多様な人々の居場所づくりに成功している [(1)]。

1-2. 研究の目的・構成

本研究は、警固公園における利用の様相を把握し、その要因と公園の公共性や包摂性に関する展望を考察することを目的とする。そのために、警固公園という一つの場を共有する事象について社会学的な観点で総体的に観察を行い、それらの関係を総合的に把握する。

構成として、2 章で警固公園の立地特性とその周辺の歴史的変遷、再整備の内容を整理する。3 章では、観察調査によって公園の利用実態を把握する。4 章では、ヒアリングや既往研究を参照し、観察された利用実態を考察することで、利用者相互の関係まで含めた公園利用の総体的な状況を整理する。5 章では、総括と、公園の公共性や包摂性に関する展望を整理する。

1-3. 既往研究の整理

警固公園を対象とする研究は数多くなされている。李ら (2017)[3] は昼間の着座について、着座場所の選択理由を、羽生ら (2005)[4] は深夜の若者やホームレスの過ごし方について、それぞれ観察・聞き取り調査を行っている。また警固公園の計画経緯や設計意図、再整備前後の利用実態については設計者である柴田 (2017)[5)6)] がまとめている。また、小松崎ら (2016)[7] は 24 時間帯での利用実態調査やインタビュー調査を基に、景観特性や着座機能ごとの行動傾向などを多面的に分析し、景観デザインによる行動変容を導いたメカニズムを考察している。しかし、定性的な観察やヒアリングに基づき、警固公園で生じる事象の社会学的な意義を整理した研究は、管見の限り見られない。本研究は警固公園における多様な事象の総体と連関について着目した点に新規性がある。

2. 研究対象地の概要

2-1. 警固公園の立地特性

警固公園の平面図を図 1 に示す。警固公園は福岡市中央区天神二丁目に位置する近隣公園である（11,156 ㎡ [8)(2)]）。同公園の周辺には、地下鉄空港線の天神駅、地下鉄七隈線の天神南駅、西鉄天神大牟田線の西鉄福岡駅、西鉄天神高速バスターミナルが位置している。周辺には多数の大規模商業施設が集積している。

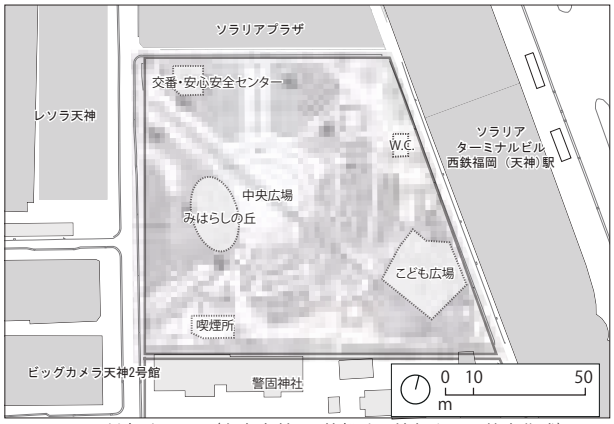

図 1　対象地平面図(参考文献6と基盤地図情報を元に筆者作成)

2-2. 天神地区の歴史的変遷と再整備（参考文献 7 参照）

警固公園は 1951 年に開園した。1955 年には、現ソラリアプラザの敷地に福岡スポーツセンターが、1970 年には福岡のアマチュア音楽界隈をけん引したライブハウス照和が開業した [9)]。これらが魅力的な下位文化となり、警固公園は若者が集まる場所性を帯びたと考えられる [(3)]。70 年代以降、天神の開発が急速に進んだことで商業施設群が高密度化し、南下した。つまり、警固公園は 1951 年の開園後に商業エリアの密度上昇と南下により周辺の環境が変化したことで、

人が訪れるポテンシャルを持つようになった。

1988 年に警固公園で第一回目の再整備が行われ、見晴台のある築山や親水空間などを備えた公園が整備された。その結果、死角が発生し性犯罪等の犯罪行為の温床になった。福岡県警や市民、周辺企業などによる精力的な防犯ボランティアが実施されたが、抜本的な解決にまでは至らなかった。

このような状況を受け、2013 年に福岡市によって二回目の再整備が行われた。その際、福岡大学の柴田が基本設計を行い、コンセプトとして防犯と景観の両立を定め、見通しと動線の確保による防犯効果の向上と周囲に広がる街の景観とにぎわいを警固公園の魅力として取り込むことを意図して設計が行われた[10)11)]。

3. 観察調査の結果

3-1. 調査の概要

3 章では、警固公園で生じる事象、利用実態を把握する目的で 2020 年 10 月 11 日から 11 月 6 日の間で複数回フィールドワークを行った[(4)]。各日程で得られた事例を統合した結果を表 1 に示す[(5)]。網羅的に行動だけを記録するだけでなく、利用者の社会属性、関係人数、行動を事細かく観察の対象とし、記述した。

3-2. 昼間の利用実態

表 1 に示すように、昼間の利用として親子連れや老夫婦、大学生などが待ち合わせ、会話、休憩、食事などの行動が多く見られ、休日を満喫するような行動が多くみられた。また朝方の出勤・通学前や昼食時、夕方以降には制服を着た学生やビジネスパーソンたちが確認された。そして喫煙者の利用も終日見られた。一時的には喫煙所付近の利用者が過多になり、園内各所で喫煙している様子も見られ、昼間において子供たちの側に侵食するような状況もあった。

関係人数別の公園利用について、1 人の場合、眺める、スマホ利用、飲食、読書、喫煙などが多く見られた。2 人の場合、会話が多く、3 人以上では写真や動画撮影、会話などが見られた。3 人以上の集団は大学生や家族連れがほとんどであるため、撮影などは若者文化の一環と考えられる。また、ダンスを練習する人や、

表1　調査期間中に得られた24時間の行動観察の結果(筆者作成 ●は休日特有の事象〇は平日特有の事象)

時間	公園全体の状況	中高生	親子	ビジネスパーソン	喫煙者	私服　壮年者・中年者	ホームレス	高齢者	若年者	ストリートの身体文化	その他
7:00	早朝　ゴミがひどい カラスの興味清掃が始まる			新聞を読む人 通勤する人	出勤前に吸うビジネスパーソン	長距離バス待ちらしき人→筋トレを始める 朝食を食べる人 独りで寝ている男性	唾を吐く男性 寝ている集団 独り駐輪場入口付近で寝る男性		徹夜明けで会話している男女混合の集団 遊具で遊ぶ集団と始発来ても話したい人たち こども広場で遊ぶ男女グループ		
8:00	清掃完了　滞在者が最も少ない印象		母子が広場を散歩して児童公園で遊び帰る	出勤前に喫煙する人	出勤前に吸うビジネスパーソン	会話している男性たち 一人寝ている男性がコミュニに合流 寂しい宗教の男性　●私服で行き交う人たち	まだ寝ている集団 ひとりだが不思議コミュで会話する人			不思議コミュで歌う女性シンガー 外国人の胸　だべっていた集団が広場の中央でスケート	
9:00	通勤の人が増　待ち合わせらしき人場　ポーダー注意	女子高生2名会話 男子高生2名コーヒー休憩	広場中央でなわとびする母子丘で赤子を抱っこする父	出勤前にコーヒーを飲む人 出勤で行き交う人	知り合い同士の挨拶 神社側で座って喫	広場中央で椅子持参で写真撮影する男女　ひとりスマホ　待ち合わせ　広場を眺める	起床して会話　広場中央でシャドーボクシング	運を行き交う人広場を眺める人会話休憩夫婦　丘で剪定女性	広場のダンサーを眺める女性二人　スマホや会話の二人組多い	広場中央でダンスの練習　新しくきたスケボー集団が警察に注意される	会話する外国人 男性
10:00	眺めるなどのカップル利用増	大声で合流する女子高生集団	●父母こども広場で遊ぶ親子が増える(休日で育児参加増？)●丘で通こす父子母子丘を滑る子供　丘でピクニック	朝国警備員が休憩、スマホ一人コーヒー休憩	二人以上での喫煙が増える	ボラードにもたれて休憩する人々　会話女性達　一人チワワ抱え飲酒　一人休憩一人動画鑑賞	集団でおしゃべり継続	会話する夫婦　ハトにエサをあげるおじさん　一人スマホ　剪定	ヘグしあう女子大生　集団利用が増える　デートのカップル	ダンスの練習中知り合いとシュムージング	眺めながら立ち話
11:00	私服の往来がほとんど ●おでかけとの人増	広場中心で立ち話 女子大生集団	●容量過多でこども広場に収まらず他のエリアで過ごす人が増える　丘ピクニックママ友たち　石ベンチを飛び回る	朝国警備員が休憩	私服の喫煙者がほとんど	急連　会話　休憩　眺める昼食　スマホ	集団でおしゃべり継続	会話する夫婦　スマホ　会話　眺め	デートのカップル　待ち合わせ昼食や会話 TikTokの撮影		ダンサーの知り合い公園会話
12:00	ランチタイムに公園で昼食を取る人たちがほとんど	●私服の男子高校生　ランチを食べる中高生？	ベビーカーで休憩する親　丘でピクニック　●丘や児童公園以外にも石ベンチで昼食を取る親子連れ多数	昼休憩でランチを公園で食べる人	ビジネスパーソンの喫煙者も	女性達のダンス撮影会　会話　休憩　眺める昼食　スマホ　一人が多い　デートの男女	人が多いからか大半が移動し居なくなる　集団ではなかった人は残っている	散歩している男性　会話する夫婦　食事　ダンスを眺める	デートのカップル　待ち合わせ昼食や会話　一人荷物整理　スマホ	ジャグリングなど大道芸を行っている人	
13:00	●ランチで座面が占領された立ったまま待ち合わせの人が増えた 〇一人での利用が多い	●犬の散歩している女子　会話している男子	●容量過多でこども広場に収まらず他のエリアで過ごす人たちこども広場が母子が多くなり父母子が減る	昼休憩終わりで少なくなった	神社側銀石の喫煙者の列が最長に 他所で吸う人	まだ昼食の人はいる　会話　休憩　眺める スマホ　一人が多い　デートの男女　荷物整理　ウーバーイーツ配達員　サイクリスト休憩	荷物だけ残っている	散歩している男性　会話する夫婦　食事　広場を眺める 杖で散歩　買い物休憩	カップルより同性の集団が多い　昼食や会話 スマホ		
14:00	多様な利用者層が見られる　買い物袋を持つ人が多い	●会話する女子高生達　芝生に座る	キャッチボールするこども達 遊具で遊ぶ子供を眺める親同士広場中心でおかしを食べる子供遊具で遊び緑石腰かけ飲み物休憩　絵本読み聞かせ	待ち合わせに合流する男性 休憩する男性　電話する男性 スマホ女性	他所で吸う人が多くて子供の側でも喫煙　日差しが強いときは昼物陰で喫煙	会話　休憩　眺める　スマホなど　デートの男女　ゴミ拾い女性　挙動不審な男性　私服でPC作業を行う人々　緑石に腰かけ軽食女性　スケッチしつつ待ち合わせ女性	ハトにエサをあげる男性	散歩している男性　女性 会話する夫婦　広場を眺める 杖で散歩　買い物休憩 政治主張デモ	デートや同性で会話　休憩　こども広場に座る女性達　携帯イヤホン　丘で会話する四人組		政治主張デモを行う集団
15:00	依然として多数の人が利用している　買い物袋	会話する女子高生達	遊具で遊ぶ子供を眺める親同士　遠くから訪れているママチャリ　丘で遊ぶ　休憩する子供　親不在の小学生二人	仕事を早上がりしたビジネスマンが休憩	他所で吸う人が多くて子供の側でも喫煙	会話　休憩　眺める　スマホなど　デートの男女　買い物袋をもって行き交う挙動不審な男性　芝生で寝そべる人が増える	ベンチで寝そべる人	散歩している男性　会話する夫婦　広場を眺める　杖で散歩　買い物休憩	デートや同性で会話　休憩　眺める　こども広場に座る女性達大勢待ち合わせ		写真撮影を行う大人数の集団
16:00	飲み会前のような集団が増える	会話する女子高生達　部活終わりの高校生たち	丘で遊ぶ子供たち　おにごっこする子供たちの遊び声が園内に響く	仕事を終えたビジネスパーソンが行き交う	相変わらず喫煙エリアに人が多い	会話　休憩　眺める　スマホなど　デートの男女　挙動不審な男性　「開いていますか」といやりとり　ギター練習	段ボールだけ残っている	会話する夫婦　広場を眺める　杖で散歩　買い物休憩 南無阿弥陀仏を唱える	ワイン一瓶ラッパ飲み　会話　休憩　眺める カップル利用　大勢待ち合わせ		自販機前で会話する外国人男性四名
17:00	飲み会前のような集団が増える　仕事おわりの人も増	部活終わりの高校生がだべる　女子高校生が増える	こども広場の子供らが2.3組ほどにまで減丘で遊ぶ子供	仕事を終えたビジネスパーソンたちが休憩	相変わらず喫煙エリアに人が多い	14時からゴミ拾いを行う女性　ヤクザらしき人らが徘徊　毛糸を編むお姉さん　ギターの練習 PC作業		念仏を唱えるおじさん　休憩するおじさん	ナンパ　カップルや飲み前の集団が増える		
18:00	まだ落ち着いている状況だが、日夜の利用層が入り混じっている	下校中で駐并る女子高校生　ライブを聴く男子高校生	こども広場にて仕事終わりの母親同士で子供を遊ばせつつ会話 家族で親光中夕食前の暇つぶしで遊具利用	通勤前に一人で休憩スマホ 待ち合わせや通話する男性 通勤時の一服　立ち止まりライブを眺める	通勤時の一服 園内各所で喫煙と飲酒	待ち合わせ　スマホ　会話	喫煙エリア付近でたばこを拾い吸いする男性	若者に声をかけいく男性 自転車休憩中の男性	待ち合わせ　スマホ　飲み会前の集合　カップル利用　飲食	ライブ開始	適正利用指導開始
19:00	暗くなりゴミのポイ捨てや放置が見られだす			通勤前一人休憩　待ち合わせ 押しかけ靴磨き　スマホ休憩 する外国人男性	園内各所で喫煙と飲酒	気功を勉強中の女性達が練習台を頼んで回るキャリーバックで休憩する男性		若者に声掛け男性 大学生カップルに話しかける男性	靴磨きさきつつ会話するカップル 待ち合わせ　スマホ　飲み会前の集合　カップル利用　飲食	ストリートライブが開始される	こども広場で飲み会外国人集団
20:00	大学生が多くストリートライブも盛況	自転車を出庫し帰宅する男子高校生	丘で休憩　待ち合わる父子	夜間職らしき作業着男性が夕食　待ち合わせ　に酒とおつまみ持ち込みで飲み会	喫煙所の利用者多数 エリア外での喫煙	手あたり次第に女性に声かけする中年男性 ナンパする社会人　ナンパ仲間探し	未園 人間観察	ストリートライブを聞いている男性　園内でリコーダー演奏 一人飲酒　夕食	ストリートライブの聴衆 ソラリア地面に座る女性2人 待ち合わせ　スマホ　会話　ナンパ　カップル利用	サイファーの集団 ストリートライブ五組	
21:00	ナンパが増える			一人で一人の女性をナンパする男性 ライブの取り巻きと逆向きに待つ男性	エリア外喫煙多数 エリア内複数人利用や飲酒が多い	一眼レフで園内を撮影する男性二人　一人ライブを聞く男性　おしゃべりする女性二人	ソラリア近くのベンチの陰にて寝袋で就寝	一人範囲外で喫煙スマホ	広場中央付近バク転する集団　待ち合わせ　ナンパ　会話　人間観察　服購入帰り　自転車を園内に乗り入れる　芝生に寝転がる人　飲み会利用	ストリートライブ	
22:00	若者の数が多い　トイレが混雑			人を待つ女性　通勤する人々 飲み会後に会話する女性二人 人間観察	エリア外喫煙多数 エリア内複数人利用や飲酒が多い	おしゃべりする女性二人 ひとりスマホ　ナンパする美容師	就寝中 自転車乗り入れ一人男性 中央を眺めるデニムシャツ男性	何もせず何も眺めずぼーっとする男性	飲み会利用　ナンパ　ポイ捨て　友人にデートの愚痴女性 芝生に寝転がる男性　遊具で遊ぶカップル　おじさんを引き合いにナンパ	神社側通路でダンスして遊ぶ ライブ解散させられる	
23:00	終電に合わせて帰宅する集団				エリア外喫煙多数 エリア内複数人利用や飲酒が多い	半袖シャツのおじさんが女性に声掛け繰り返す	就寝中	広場中心でゆったり踊る男性	酔いつぶれて岩の上で寝る人ナンパ　会話 広場中央で大人数のTikTokの撮影　丘の芝生座り　飲み会利用　スキンシップの過激化	外国人中年男性のストリートライブ中央にてスケートボーダー	適正利用指導員が路町女性達に声掛け
0:00	終電時間を過ぎた頃 自転車乗り入れが目立つ				エリア外での喫煙 園内中吸い殻のポイ捨て	ナンパするおじさん 一人で徘徊していたがライブを聞き入る男性	就寝中		酔っぱらい状態で同性にも声掛け　会話を楽しむ女性二人組も多い　飲み会利用　丘の植栽で立ち小便する男性　立った状態での滞留が多い 遊具を取り囲むライブの聴衆	駐并るスケートボーダーの集団	
1:00	未だ人が多く滞在している				エリア外での喫煙 吸い殻のポイ捨て	ストリートライブを聞き入る中年男性	就寝中		飲酒　喫煙　人間観察　ナンパ　街区へ散歩しに行く男性二人　酔いつぶれ寝る人　介抱　自販機で飲料購入	駐并るスケートボーダーの集団	
2:00	飲み会終わりの人が増加　さらめき通りからの往来				エリア外での喫煙 吸い殻のポイ捨て	飲み会終わりのような女性たちや夫婦　上裸風のTシャツを着た男性　ストリートライブを聞き入る男性	就寝中		帰り支度　一人でスマホを眺める　交番脇でしゃがむ女性達　一人待ち合わせする人　酒を瓶で飲む人　広場中央で座り込む男性集団	遊具にて駐并るシンガーの集団 駐并るスケートボーダーの集団	遊具にて駐并るシンガーの集団 トイレ付近で別のライブ
3:00	大声で騒ぐ人女性だけで過ごす人が減る				エリア外での喫煙 吸い殻のポイ捨て	ストリートライブ終了後シンガーと交流する中年男性	就寝中		飲み会利用　ナンパ　喫煙　人間観察　酔いつぶれ寝る人　介抱　ライブを聴く	ストリートライブで聴衆とのやりとり　駐并るスケートボーダーの集団	駐輪場職員が休憩で喫煙
4:00	落ち着いてきた印象				喫煙エリアの滞在者と園内喫煙者減少	女性に声をかけ続け続けていた徘徊している中年男性	就寝中		会話　ナンパ　マクドナルドを食事　自販機で温かい飲料購入	北側ライブは終了したが南側では継続　駐并るスケートボーダーの集団	用意された餌に集う猫
5:00	始発が近づき人が増える　六時近くまでナンパ			新天町の工事を行っている人が園内のトイレ利用		飲み終わりで始発まで待つ既婚女性達	就寝中 自転車男性　人間観察		会話　芝生で寝ている男性 既婚女性へのナンパ　さらめき通り側から　ご機嫌で踊る女性	駐并るスケートボーダーの集団	
6:00	夜が明け徹夜組が帰りだすカラスが集う			ゴミの少ないこども広場で朝食	夜間滞在者2,3組喫煙エリアに滞在 出勤前の一服		就寝男性が起床　自転車男性 両名とも飲食物やたばこの収拾		大人数で会話　ほとんどの集団が始発ごろに帰る	スケートボーダー帰る	
7:00	早朝ゴミの清掃が開始	通学の高校生		出勤する人々	出勤前の一服として喫煙　徹夜明けの喫煙	朝食を食べる人　カップル　徹夜明けの集団	中央の自転車男性とソラリア側男性がタバコや飲食物を探す		カップル　会話		自販機の補充が行われる　車いす利用者が散歩

ダンスの撮影会、椅子を利用した写真撮影など広場の中心付近で行われ周囲の人の視対象となるような活動も確認された。その他、犬の散歩や飲酒、ナンパ、編み物、スケートボードなど多様な行為が確認された。

3-3. 夜間の利用実態

夕方の午後5時以降、仕事終わりのビジネスパーソンや学校終わりの高校生が見られた。また、適正利用指導の指導員[6]が巡回を始め、高校生などに話しかけていた。仕事終わりに、動画鑑賞やネットサーフィンなど、家に帰る前の暇つぶしとして過ごしているサラリーマンも多く見られた。午後6時ほどからストリートライブが開始され、演奏を聞く若者たちも多く見られた。仕事終わりのビジネスパーソンや大学生など飲酒する人や集団も多く、外国人の方が芝生に腰を下ろし飲み会をしている様子も見られた。一方で、園内のいたるところで喫煙する人が増加し、酒類や吸い殻、ペットボトルなどを放置が多く見られた。

若年層が多く滞在しており、男性グループが出会いを求めて女性グループに話しかけるナンパが数多く行われていた。また、ホームレスのような高齢男性から若者への声かけや、男性同士でのコミュニケーションが生じている状況も見られた。終電後の時間帯でも、ストリートライブやナンパが継続して観察され、特にナンパは始発直前の午前6時ごろまで行われていた。明け方には、野宿したホームレス男性が飲み残しやたばこなどの物資を清掃実施前に回収している様子が確認できた。朝方にも、早朝出勤する人などが朝食や喫煙などで公園を利用していた。

3-4. 総括　24時間を通じた多様な利用実態

観察調査の結果から、表1のように警固公園では多様な社会属性の人々が同時に滞在している状況が多く、多様な行動が見られる豊かな利用実態があった。また、24時間の時間帯を通じて断続的に利用されているということが明らかになった。

4. 観察結果の考察

4-1. 警固公園の事象の関係性

前章の観察調査の結果から、警固公園で生じている複数の事象は相互の関係性や設計意図による影響が見られるものがあった。それらの関係性は、表3に示すような類型が考えられた。次節から、関係性の類型に基づいて特徴的であった3つの事例について取り上げ、考察する。

4-2. 子どもの遊びとその風景（①・⑥・⑦）

交通量が少なく飛び出しても安全という観点から、現在は南東側にこども広場が整備されており、遊具は低年齢向けのものになっている。一方、聞き取り調査では、小学生程度の子どもたちの遊び場としては魅力的でないとの意見があった。実際の観察調査においても、こども広場ではない他の場所における、石のベンチの登り降り、砂いじり、みはらしの丘での滑り、複数人での鬼ごっこ、ハトの追いかけっこなどの活動が、小学生程度の子どもの遊びとして観察できた。

表2　事象の関係性の類型図(筆者作成)

人から人への影響	共時的	視対象	視対象として影響する	① ・こどもの遊び ・ふれあいの三角化 ・ナンパ ・人の往来 ・対岸のベンチに座る人
			視対象に影響される	② ・ナンパ ・ストリートカルチャの仲間集め ・セールス ・風俗のスカウトマン ・靴磨きや気功の練習相手 ・ホームレスのアイデンティティや賑わいの安心感
		逸脱行為	他者への危険・迷惑	③ ・受動喫煙やポイ捨て ・スケボーの接触危険性や器物破損、騒音 ・ストリートライブの騒音、人だかりによる通行への迷惑
			管理とのせめぎあい	④ ・スケボーやストリートライブと適正利用指導 ・犯罪と防犯パトロールや警察の巡回
		行動場面の合致		⑤ ・周りがナンパしてたらナンパしやすい心境、 ランチしてたらランチしやすい心境になる ・周りが一人なら一人、女性なら女性の集団が集まる傾向
	非共時的な関係			⑥ ・孤独者のえさやりと子供のハト追いかけ ・盛り場のゴミが物資の補給
基盤的条件から人への影響	設計デザインによる影響			⑦ ・ユニバーサルデザイン ・スケボーの不適切利用の抑制 ・快適な滞留を生む景観特性
	立地特性による影響			⑧ ・交通の結節点 ・若者文化の場所性

このような地形を生かした行為や他の生き物自体が、遊具の対象年齢以外とされる子どもたちの遊びとなっていると考えられる。こうして子どもたちが広場の中心側で遊ぶことによって、その風景が良好なイメージをもたらし、他の滞在者の視対象として、他の利用者の滞在を誘発していると考えられる。

4-3. ホームレスと夜の盛り場の関係（②・⑥・⑦）

ホームレスの方の中には、当事者同士や若者など他人に話しかける行為が見受けられた。藤井(2001)[12]は、こうした会話による一般社会とのつながりが彼らのアイデンティティを支え過酷な野宿生活を可能にしていると述べている。また、区役所の元担当者[7]によると、ホームレスの方々は人が多く賑やかで安全だとして、警固公園で寝泊まりしているとのことであった。再整備により安全が担保されたことや若者の場所性を帯びた立地特性によって夜の盛り場が形成され、その結果として、ホームレスの方々のある程度安全な宿泊や飲み会の残り物としての物資の補給、彼らのアイデンティティの維持が可能になったと考えられる。

4-4. ストリートカルチャーと管理の動的平衡（③・④）

観察では、スケートボードやストリートライブ、ダンスの撮影会などのストリートの身体文化の営みも複数確認された。これらの文化は彼らのアイデンティティやコミュニティを確立したり、公園での聴衆や観衆を楽しませたりするなど好影響を及ぼす側面もある。一方で、器物破損や騒音被害、通行の妨げ、場所の占有など公共の福祉に反するものとして公的に禁止されており、どれも管理側をいなしながら行われていた。公園管理が、苦情を受けた際や逸脱し過ぎたもの

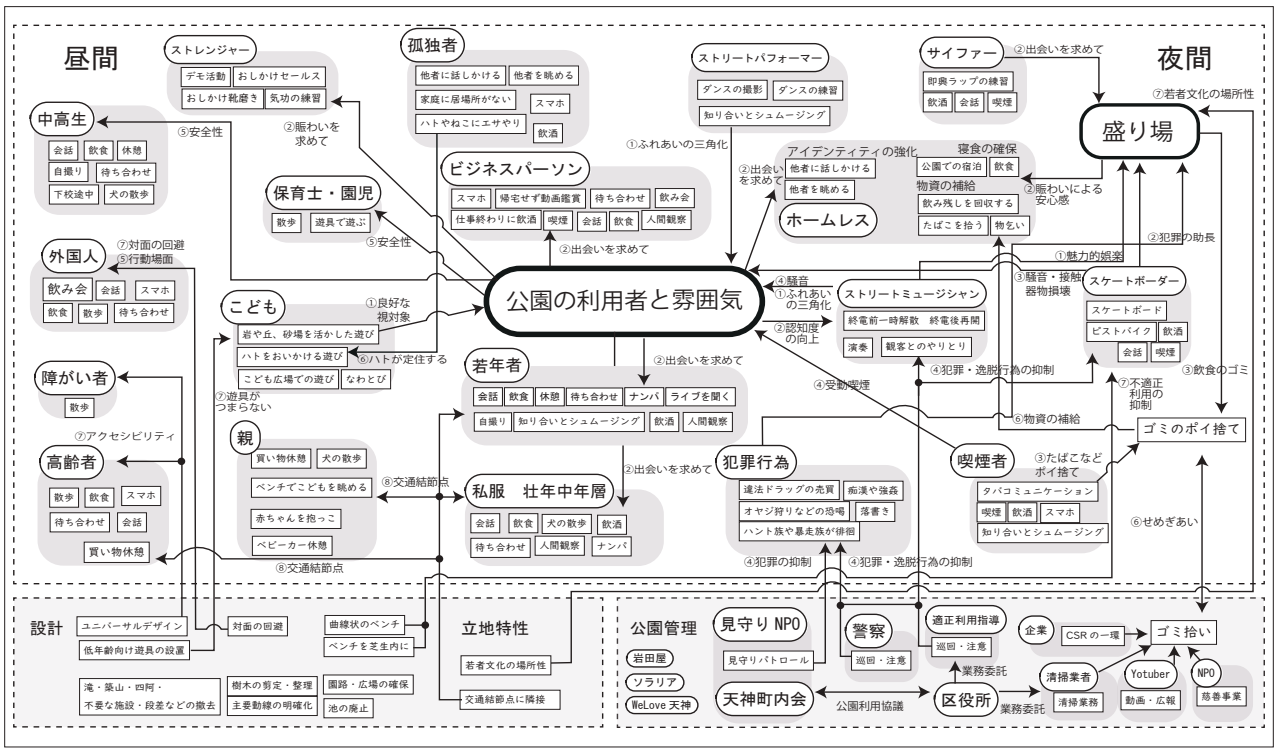

図2　警固公園における事象の総体と連関の図(筆者作成)

を時折注意することで、それらの営みが行き過ぎることを抑制しつつ、活動を完全に抑え込むことなく好ましい程度の活動が行われる動的な平衡状態が生まれていると考えられる。

4-5. 総括　警固公園を共有する事象の連関

上記の 3 事例のように、警固公園で見られた社会属性の集団と行動をまとまりとし、それらの間の関係性とその類型の全体図を図 2 に示す。また図の下部には利用実態以外の基盤的条件を補足的に書き加えた。

このように、一つの場を共有することで、個々の事象が他集団の活動や利用に対して相互に影響している状況があった。また、こうした関係性によって多様な人々が共存する空間となっていると言える。

5. 研究の総括

5-1. 結論

本研究では、警固公園の定性的な観察調査や利用者、関係者へのヒアリングを行い、警固公園で生じている社会事象の総体とそれら事象の関係について以下の概観を明らかにした。

1) 警固公園では、24 時間を通して多様な社会属性の人々が同時に滞在している状況が多く、多様な事象が見られる豊かな利用実態がある。

2) 公園という一つの場を共有することで個々の事象が他集団の利用に対して相互に影響している。

3) 利用者や個々の事象の相互の関係性によって、多様な人々が共存する空間となっている。

5-2. 公園の公共性と包摂性に関する展望

本研究で、警固公園での事象は利用者間で相互に関係しあっていることが明らかになった。今後、公園の公共性や包摂性を担保するために、こうした関係性まで捉えた上での議論が必要であると考えられる。そのためには、都市工学的な定量調査や社会学的な定性調査のどちらかに偏るのではない、分野横断的な研究が必要であると思われる。

謝辞

本研究調査に際し多大なるお力添え・助言を頂いた九州大学人間環境学府飯嶋准教授、元中央区役所整備部維持管理課公園係川田氏、天神 2 丁目 1 区町内会長藤木会長、NPO 法人日本ガーディアン・エンジェルス福岡支部長島津氏、ヒアリングに協力していただいた方々にはこの場を借りて、感謝を申し上げる。

脚注

(1) 参考文献 8 によると、警固公園を擁する中央区大名地区の犯罪件数は、2010 年には 328.2 件ではあったが 2015 年には 75.9 件、2018 年は 69.6 件と警固公園のリニューアルされた 2012 年を機に大きく減少している。
(2) 参考文献 6 の福岡大学の資料では 11,382 ㎡とされている。
(3) 藤木会長のヒアリングより照和の若者文化における重要性をお聞きした。
(4) フィールドワークは、10 月 11 日（日）7 時 ~18 時、20 日（火）14 時～ 15 時、21 日（水）14 時半～ 23 時、23 日（金）11 時～ 16 時半、24 日（土）20 時～ 32 時、11 月 6 日（土）18 時～ 24 時、以上の日程で実施した。
(5) 筆者の主観的観点で外見や会話の内容から分類を行った。壮年と中年は大学生以上の 23 歳～ 64 歳程度と思われる人物を、ビジネスパーソンはスーツや作業着の人物を分類している。
(6) 公園内での迷惑行為を防止のため、中央区役所が毎日 18 時 -24 時で配置している。
(7) 元中央区役所地域整備部維持管理課公園係の川田氏に行ったヒアリングより。

参考文献

1) マーモット・マイケル・栗林寛幸監訳 (2017)「健康格差 不平等な世界への挑戦」日本評論社 , pp. 249-251
2) 大塚芳嵩 , 那須 守 , 高岡由紀子 , 金 侑映 , 岩崎 寛 (2014)「都市公園における利用行動と健康関連 QOL の関係性」日本緑化工学会誌 , 40(1), 90-95
3) 李 静雅 , 大井 尚行 (2017)「公園における着座に関する調査ー福岡市警固公園と天神中央公園を例として」人間・環境学会誌 20 巻 1 号 , pp.21-
4) 羽生 崇一郎 , 南 博文 (2005)「深夜の都市公園の利用実態に関する事例的研究」人間・環境学会誌 9 巻 1 号 , pp.32-
5),10) 柴田久 (2017)「地方都市を公共空間から再生する　日常のにぎわいをうむデザインとマネジメント」,pp34-58
6) ,11) 福岡大学工学部景観まちづくり研究室プロジェクトリポート：警固公園再整備事業
7) 小松崎俊作 , 尾崎信 (2016)「景観デザインによる社会イノベーションのメカニズム分析：コロンビア・メデジン市のベレン公園図書館と福岡市警固公園との比較」平成 27 年度国土政策関係研究支援事業研究成果報告書
8) 福岡市（2020）「福岡市中央区　大名地区データ集」
9) ライブハウス照和公式サイトより ,(最終閲覧日　11 月 20 日)http://www.live-syouwa.com/history/index.php
12) 藤井浩人 (2001)「福岡市の都市下層における野宿者ネットワーク —野宿生活の意味世界—」, 九州大学人間環境学府　発達・社会システム専攻